

飯塚市先導的共生社会ホストタウン関連事業

【市全域を対象として実施】

- バリアフリー法に基づくマスタープラン策定(2020年5月予定)
- 市内交流センターのバリアフリー化
- ◆自治会等や民間企業に対し、障がい者への合理的配慮などをテーマとした説明会の実施
- ◆障がい者週間における啓発イベントの開催
- ◆手話奉仕員養成講座の実施
- ◆各種イベントでの手話通訳の実施
- ◆市内小中学校での障がい者理解教育の実施
- ◆パラスポーツ(車いすテニス、ゴールボール等)の体験
- ◆市内小学校にてあすチャレスクールを実施(2018年度小学校3校)

●旧伊藤伝右衛門邸に多言語音声ガイドを導入

◆オリンピック・パラリンピック教育推進校として活動(2018年度)

スポーツ・レクリエーションゾーン

中心市街地・交通結節点

【スポーツ・レクリエーションゾーン】

- 車いすテニス会場でもあるスポーツ施設が併設する**宿泊施設(筑豊ハイツ)を公設民営方式で再整備・バリアフリー化**
- 南アフリカ共和国車いすテニス・水泳の事前合宿の実施
- ナショナルトレーニングセンターに登録
- 車いす利用者にも配慮したテニスコート観客スタンドの設置**
- 高齢者や障がい者スポーツにも対応できる新体育館を建設中**
- ◆飯塚車いすテニス大会運営
- ◇「イイヅカ方式」によるボランティア運営の継続・持続的な発展に向けた次世代の担い手の育成。(大会期間中延べ2,000人のボランティアで大会を支える運営スタイル)

●JR筑前大分駅のスロープ設置

◆オリンピック・パラリンピック教育推進校として活動(2017年度)

◇あすチャレアカデミーを実施(2019年度)

【中心市街地・交通結節点】

- 市の中心市街地の歩道や緑道を整備(段差の解消、点字ブロックの整備)
- バリアフリー化に対応した新庁舎の建設
- JR新飯塚駅前に高齢者にも配慮した健幸交流広場を整備し、多目的トイレや音声案内付きの案内板を設置
- 嘉穂劇場に多言語音声ガイドを導入
- ◆パラリンピアン講演、ユニバーサルツーリズムをテーマにしたパネルディスカッションなどの**共生社会ホストタウンサミットを開催。健康・福祉のつどいも同時開催**
- サミットに併せ、バリアフリー化の進んでいない飯塚駅周辺を、**パラリンピアンや地元障害者とともに街歩き・点検を行い整備事業に反映**
- 新飯塚駅周辺他2か所の**交通結節点のバリアフリーマップ作成**(2020年5月予定)
- 観光庁の補助金も活用し、**民間ホテルのバリアフリー化を推進**

- 【ユニバーサルデザインの街づくり】
- 現在実施中の事業
 - 今後実施予定の事業(計画中の事業)
- 【心のバリアフリー】
- ◆現在実施中の事業
 - ◇今後実施予定の事業(計画中の事業)

(記載凡例)

- ・目玉事業 → **赤太字**